

令和2年度 第6回日本脊椎脊髄病学会 安全医療推進委員会 議事録

2020.12.23 (水) 18:00-19:00

場所：オンライン会議（会議主催地：名古屋大学医学部附属病院 会議室）

出席委員： 高相（担当理事） 今釜（委員長） 相澤 奥田
金村 小西 酒井 須田 中西 西田 村上
宮腰 大和 町野（書記）（敬称略）

欠席委員： 大谷 湯川（敬称略）

その他： 川口（富山大学）（敬称略）

議事

1. 報告事項

（ア）日本脊椎脊髄病学会理事会（12月22日）：高相（担当理事）

以下報告内容を確認した。

1. 第5回 JSSR 安全医療推進委員会の報告・検討内容（酒井先生の抗凝固剤アンケート研究、川口先生のレベルエラー研究、金村先生の JSSR 統合型 DB）を報告した。
2. 12月22日の日本脊椎脊髄病学会理事会にて、徳島大学酒井紀典先生が安全医療推進委員会委員として承認された。
3. DB 構築や合併症調査にあたり、12月委員会から実務サポートとして名古屋大学の町野正明先生が追加委員として参加することが承認された。
4. 4月の JSSR 会期中に対面での本委員会開催しない予定。

2. 検討・確認事項

（ア）抗凝固剤内服と硬膜外血腫リスク：酒井先生

- 1) 抗凝固剤内服アンケート内容を各委員にて確認し修正した。委員会でのアンケート内容について同意が得られた。
- 2) 徳島大学の倫理委員会審査が1月25日となり、アンケート調査のアナウンスの方法として、ホームページ開示よりニュースレターでの広報が望ましいという意見が出た。
- 3) 川口先生のアンケート調査とともに、JSSR 2021 会期中のアナウンスについて、高相担当理事から根尾会長に打診することになった。
- 4) 1か月から1か月半でアンケート集計を行う予定。
- 5) 川口先生のアンケート調査と同様、今月の JSSR 理事会でも確認された通り、学会主体のアンケートでも原則、JSSR の学会倫理委員会の承認を得る必要がある。プロジェクト委員会の研究では、JSSR 倫理委員会申請後承認まで約2週間程度であった。
- 7) 徳島大学の倫理委員会申請書類における委員会代表者を今釜委員長が担当。

(イ) レベルエラー研究：川口先生

1. 富山大の倫理委員会に提出中である。
2. レベルエラーアンケート作成に対して多くの先生方からのご意見を反映した。
3. レベルエラーという語彙について、一般の方から誤解を招かぬよう名称・変更案が提示された。今後随時検討する。
4. 倫理委員会承認後のアンケート書類を再度委員で確認する予定。

(ウ) JSSR 統合型 DB 進捗状況：金村先生

JSSR 統合型 DB プロトタイプロードマップが供覧され下記説明がされた。

- 1) JSSR データベースの研究計画を JOANR 倫理委員会に提出し承認される方向。
- 2) JOA から JSSR データベース研究計画を含んだ JOANR 研究計画書の改定版を 2021 年 2 月ごろを目処に JOANR 参加各施設に送付し、各施設で承認して頂く予定。
- 3) 安全医療推進委員会での合併症調査を中心に JSSR データベースのシステム構築を進めていく。
- 4) 2021 年 7 月までに JSSR-DB システム構築し実装、8 月にパイロット登録を本委員会およびデータベース委員会のメンバーで行いシステムの修正を行う。
- 5) データクレンジング担当施設（固定 IP 取得）を浜松医科大学と名古屋大学とし、その作業担当を浜松医大の有馬先生と名古屋大学の町野先生が行うこととなった。
- 6) 周知期間を考慮して 2021 年 9 月から本登録開始を目指す。対象施設は脊椎脊髄病指導医施設（1008 施設）を予定している。JSSR-DB 登録対象機関が JOANR 参加施設であるかどうかは現在精査中。
- 7) JOANR 登録症例件数が増加しており（12 月時点で約 45 万件）、JOA 研修プログラム関連施設など 2114 施設である。
- 8) 合併症の項目については本委員会から提出したものを中心にして作成し、また他の合併症調査（新技術委員会の LIF の合併症調査など）も一緒に盛り込むように DB ワーキンググループで検討中。

3. 次回委員会開催日

- ・約 1 ヶ月後の JSSR 理事会開催後に予定
- ・2021. 1/27 水曜日 18 時～